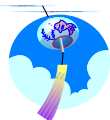


中村地区社協だより



平成26年7月1日 [第50号]
綾瀬中村地区 社会福祉協議会

災害時に生き残るためには！！

今回の中村地区社協だよりから、防災についての情報を提供したいと思います。どうぞ、ご参考にいただければ・・・



●災害要援護者は特別な人ではないです

震災の時には「あなたも弱者になるかもしれないから」を、いつも意識しましょう!!

●災害時に、障がい者が遭遇する困難を考えましょう

支援は全部はできません⇒第一は「自分の命は自分で守りましょう」

貴方は自分自身でどこまでガンバれますか?
できるのか・できないのかを確認しましょう

●「物を置かず逃げる空間をたくさん作りましょう」⇨シンプルな暮らし

「ここはあぶない」「ここから離れようね」「ここに集まるよ」と書くといつも見ている

●必ずケガをするという前提が大切です

- ・救急車は足りません・・・綾瀬には3台しかない!
- ・応急手当品を充実した救急箱・・・(避難場所では意外と目薬が必要らしい)
- ・救護所の設置と確認



ケガをしても、重傷にならないために



防災頭巾からヘルメットへ

ブレーカーを落として避難

**物を減らして、
家具、家電製品、生活雑貨を固定して
応急手当の用品を充実して
応急手当の技術を磨いておく**

体を守る姿勢⇒「ダンゴ虫ポーズ」 両手を頭にして前かがみに丸くなる

●災害に負けない暮らし方を学びましょう

「避難所に行くことありき」の防災から「自宅で滞留生活」を目指しましょう



危機管理アドバイザー 国崎 伸江氏の講演から引用

▽自己チェックをしてください

「あなたがケガをしても重傷にならないためには、どのようにしたらよいですか？」

(答えは2枚目下の方にあります)

だよりは綾瀬市社会福祉協議会のホームページにも掲示しています
[綾瀬市社会福祉協議会でクリック] or <http://www.ayase-shakyo.or.jp/>

研修 「AEDを持ってきて!!」

救急救命の「重要な道具の AED の使い方の実技」と「防災の話」の研修を行いました

日時：6月8日(日) 中村自治会館
 指導：綾瀬市消防本部 三村副所長以下 4 人
 出席者：中村地区社協 幹事 30 人

内容：

◆心肺蘇生の機会は家庭での遭遇確立が高いとのこと

- ・心配蘇生法①胸骨圧迫 30 回②人工呼吸 2 回繰返し
- ・AED バッグにタオル(体を拭く)、髭そり(胸毛そる)、感染予防マスクなどが入っている
- ・AED は成人と小児用のモードスイッチがある
- ・AED セット後に適用 OK ランプで電気ショックを行い、再び胸骨圧迫しながら救急車を待つ
- ・公共施設の AED 設置状況
- ・「未然に防ごう電気器具の火災」ビデオ
 コンセントにほこり付着で発火(トラッキング 現象)など



切迫感ある光景(2 班に分かれ全員が実技)

◆日頃から AED や防災について家族で話しましょう！

子育て広場 「いちご」

“ちびっこプール” 開催のお知らせ

日時 7月23日(水) / 8月27日(水)
 10:30~12:00

場所 中村自治会館

対象 未就園児とその保護者

参加費 一家族50円(保険加入費)

* 飲み物、着替え、オムツなど必要品はお忘れなく

* 雨天時は通常開催となります



平成 25/26 年度の活動報告/計画

○平成 26 年度の定期総会が 4 月 20 日に開催され

- ・平成 25 年度 事業報告、決算報告
- ・平成 26 年度 役員新任、事業計画、予算案が滞りなく承認されました。

○綾瀬市社会福祉協議会から“あんしん袋”(保存水・キャラメル・笛・ミニライト)が地区社協を通して、新たに登録された「要援護者」に配布されました。

地域要援護者登録のお願い

○支援を必要とする高齢者や障害者が登録されますと、自治会・地区社協が災害時の安否確認や避難支援活動を行います。

市福祉総務課、地区社協メンバー(お近くの民生委員含む)等に問い合わせ下さい。

自己チェックの答え

「物を減らす」です。詳しくは 1 枚目の枠欄をご参照

発行：(会長)岩井 勇夫 Tel. 76-5642

編集：広報部会